






放射線はどのくらい浴びると人体に影響があるのでしょうか。  
第6回のコラムは、そんな疑問にお答えします！



## 『放射線の人体への影響を知る』

放射線は、自然界に存在する**自然放射線**と、人工的に作り出した**人工放射線**の2種類ありますが、どちらの放射線も人体に与える影響は同じです。放射線が人体に与える影響について、『発がんリスク』をもとに生活習慣との比較で見てみましょう。

発がんリスク	生活習慣	放射線量
1.6倍	喫煙 	1,000～2,000 <sup>ミリ</sup> Sv 放射線を浴びた場合 (年間放射線量の約 <b>1,000</b> 倍)
1.4倍	毎日の飲酒 (2合以上) 	500～1,000 <sup>ミリ</sup> Sv 放射線を浴びた場合 (年間放射線量の約 <b>500</b> 倍)
1.22倍	肥満 (BMI ≥ 30) 	200～500 <sup>ミリ</sup> Sv 放射線を浴びた場合 (年間放射線量の約 <b>250</b> 倍)
1.15倍	塩分過多 	
1.06倍	野菜不足 	

相当量の放射線を浴びると  
発がんリスクは高まる。  
生活習慣に潜むがんリスク  
にも注意が必要じゃぞ！！

日本人は、年間約**2.1**<sup>ミリ</sup>Sv  
の放射線の影響を受けて  
いるぞ！

出典 国立がん研究センター『わかりやすい放射線とがんのリスク』

次回は、『**原子力発電の仕組み**』というテーマで、広報誌5月号の掲載を予定しています。

